

Introduction

The British Broadcasting Corporation (BBC) is internationally famous for the quality and impartiality of its news items. BBC reporters also strive to make the news both interesting and as easy to understand as possible.

In this book we have chosen 15 items that we think would be of particular interest, and therefore motivating. Most of them are about Britain, as you might expect, and learners will gain an understanding of the life and culture of that country. In contrast to previous issues, most stories are based outside London and the Home Counties, and we learn about such varied places as Cornwall in the South West, the Orkney Islands in the North of Scotland, and the towns and villages of Wales. Some of the issues covered are also important in Japan, so there is the opportunity to discuss and compare the two countries.

There are stories of international importance, such as the steps the world is taking to deal with the effects of climate change, and the challenges and opportunities presented by artificial intelligence. And there are also evolving stories, covering, for example, the British political situation, and the unpredictable consequences of strife in the Middle East.

As ever, new items of vocabulary are explained, and the notes (in Japanese) will explain any interesting points of grammar and usage of English. However the most important purpose of this book is that the learners should be able to engage in the subject matter, research, and then discuss together. With this in mind, we have developed discussion questions that would encourage them to relate these new discoveries with what is already familiar to them.

The videos are easily accessible online. This will make it easy for students to study by themselves out of class.

We hope you enjoy the book and the videos.

はじめに

本書は、実際に放送された BBC（英国放送協会）のニュースを教材として、ニュースキャスターや街頭インタビューを受ける native speaker が自然に話す英語に触れることで、学習者のリスニング力や語彙力といった英語力を伸ばすことを目的としています。同時に、イギリスや世界で起こっている出来事やその背景となる社会や文化についても学べるように工夫されています。

扱うトピックは、政治、環境、文化などから、医療、科学技術、労働問題まで多岐にわたるものとし、できるだけ up to date でありつつも普遍的なものを選びました。学習する皆様の興味関心の幅を広げ、ご希望にお応えすることができれば幸いです。

前作に引き続き、ユニット内のコラムは、イギリス文化についての興味深い情報を増やして充実を図り、Questions も最初の Setting the Scene に始まり Follow Up にいたるまで、各ユニットで取り上げるニュースを順序良く掘り下げて理解が深まるように配慮しました。

本書を通じて、伝統と革新が共存する多民族国家イギリスが、4 つの地域の独自性を保ちつつ、総体としてのイギリスらしさ（“Britishness”）を模索する今の姿を見ていただけたと思います。現在のイギリスは、物価の高騰による生活苦が続く中、2024 年 7 月の総選挙によって 14 年ぶりの政権交代が行われ、新たな時代を迎えています。日本や世界に与える影響を考慮すると、今後もその動きから目が離せません。

このテキストを使って学習する皆様が、イギリスや世界の状況に興味を持ち、さらには、自分から英語ニュースに触れたり、英語で意見を述べたりと、ますます学習の場が広がっていきますことを、執筆者一同願っております。

最後に、BBC ニュースを教材として使うことを許可してくださいました BBC、編集に際してご尽力いただきました金星堂の戸田浩平様に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

テキストの特徴

普段の生活の中で、ニュースの英語に触れる機会はあまりないかもしれません。本テキストは、初めて英語でニュースを観る場合でも無理なく取り組めるよう、多種多様なアクティビティを用意しています。単語のチェックや内容確認、穴埋め、要約、ディスカッションを通して、段階を踏みながらニュースを理解できるような作りになっているので、達成感を感じることができるでしょう。

STARTING OFF

Setting the Scene

実際にニュースを観る前に、ニュースで扱われるトピックについて考えるためのセクションです。トピックについての学習を始めるにあたり、身近な問題としてトピックを捉えられるような問題を用意しました。ここで先にニュースに関する情報を整理しておけば、実際にニュースを観る際に理解が容易になります。ニュースで使われている単語や語句、または重要な概念をここで予習しておきましょう。

Building Language

ニュースの中で使われる重要単語を学びます。単に日本語の訳語を覚えるのではなく、英語での定義を通して、また同義語を覚えながら、単語の持つ意味を英語で理解することを目指します。また、これらの単語はディスカッションを行うときにもおそらく頻繁に使うことになる単語ですし、ニュースの核となる単語ですので、発音もしっかりと確認することが重要です。

WATCHING THE NEWS

Understanding Check 1

実際にニュースの中身を詳しく見ていく前に、どんな意見が交わされているのかを確認します。ここで具体的にニュースのイメージをつかむことが大事です。全体像を簡単にでも把握することで、ニュース理解の大きな助けとなります。

Understanding Check 2

ニュースに関する問題を解くことで、どれだけニュースを理解できたか確認することができます。間違えた箇所に関しては、なぜ間違えたのかをしっかりと分析し、内容を正確に把握しましょう。**Filling Gaps** のアクティビティを行ってから **Understanding Check 2** に取り組むのも効果的かもしれません。

Filling Gaps

ニュースの中で重要な意味を持つ単語を聞き取ります。何度も繰り返し聞き、正しい発音を意識します。それと同時に、単語を正しく書き取ることで、耳と手との両方の動きを通して重要単語を習得することを目指します。もし時間に余裕があれば、穴埋めの単語を実際に発音し、耳と手に加え口も使って覚えると効果的です。

MOVING ON

Making a Summary

この箇所は、これまで観てきたニュースをまとめる部分でもあり、かつ **Follow Up** に至る前の準備の段階でもあります。しっかりと内容を理解しているか、このアクティビティを通して確認しましょう。また、**Building Language** で出てきた単語を再度使っているため、単語の習熟の確認ができるようになっています。

Follow Up

ニュースと関連したトピックをいくつか挙げてあります。ニュースで得た知識、また単語を活かして話し合いを行うためのセクションです。トピックには、その場で話し合えるものと各自調べてから発表し合うもの、両方が含まれています。そのニュースに關してだけでなく、今後似たような話題に接したときにも意見を述べるができるよう、このアクティビティで仕上げを行います。

Background Information

ニュースでは、必ずしもすべての事柄が説明されているとは限りません。ニュースの核となる事柄で、かつニュースの中ではあまり詳しく説明されていないことに関して、このセクションでは補足しています。ニュースをより深く理解するのにも役立ちますし、**Follow Up** での話し合いの際にも使えるかもしれません。

Behind the Scenes

ニュースに関連することではありますが、**Background Information** とは異なりここではニュースの核となることではなく、話題が広がる知識、教養が深まる知識を取り上げました。肩の力を抜き、楽しんで読めるような内容になっています。

- ・各ユニットで取り上げたニュース映像はオンラインで視聴することができます。詳しくは巻末を参照ください。
- ・テキスト準拠の Audio CD には、各ユニットのニュース音声と、ニュースを学習用に聞き取りやすく吹き替えた音声、Making a Summary を収録しています。



Contents

Unit 1	Ice Cream: A New Heritage Flavour	1
	歴史的なアイスクリームのお味はいかが？ [2分55秒]	
Unit 2	Selling Fashion to Help a Community	7
	古着でチャリティに貢献 [2分39秒]	
Unit 3	The Floods of Storm Henk.....	13
	イギリスを襲った洪水の傷跡 [2分40秒]	
Unit 4	A London Sauna.....	19
	地域にもっとサウナを！ [2分54秒]	
Unit 5	Workers from Overseas.....	25
	移民による人手不足解消への道 [2分47秒]	
Unit 6	Welsh Place Names: In English or in Welsh?.....	31
	ウェールズの地名表記は統一すべき？ [3分26秒]	
Unit 7	Power from the Scottish Sea	37
	海洋エネルギー発電の未来は？ [2分53秒]	





Unit 8 Volunteers Preserving the White Horse 43

古代の地上絵を保護する取り組み [4分27秒]

Unit 9 Lifting Men's Spirits with The BroProject..... 49

男性も心の健康を話題にしよう！ [2分50秒]

Unit 10 Eating at the Cornwall Show: Plants or Meat?..... 55

地域の畜産農家を守る取り組み [3分37秒]

Unit 11 The Impact of Artificial Intelligence 61

AI が未来を救う？ [3分07秒]

Unit 12 Traditional Skills Needed to Save Old Buildings..... 67

職人不足で歴史ある建物が危機に？ [2分57秒]

Unit 13 Antisemitism in the UK..... 73

ガザ侵攻がロンドン在住ユダヤ人を窮地に [2分40秒]

Unit 14 Learning How to Capture Carbon 79

二酸化炭素削減に向けた新たな解決法 [2分45秒]

Unit 15 How Can Scotland Gain Independence? 85

スコットランド独立を目指して [3分39秒]



Map of The United Kingdom

正式名称は **The United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland** (グレートブリテン及び北アイルランド連合王国)。**England** (イングランド)、**Wales** (ウェールズ)、**Scotland** (スコットランド)、**Northern Ireland** (北アイルランド) の4国から成る連合国家です (2024 年現在)。

※ () は本テキストでその地名、場所が登場するユニットを表します



Unit 1

Ice Cream: A New Heritage Flavour

かつてイギリスで食べられていた不思議なアイスクリームの味を再現する試みが行われています。一体どのような味なのでしょうか。ニュースを見てみましょう。

On Air Date 27 June 2023

STARTING OFF

Setting the Scene

What do you think?

1. Do Japanese people eat a lot of ice cream? Where and when do they usually buy it?
2. What is your favourite flavour of ice cream?
3. When do you think people first started to eat ice cream?

Building Language

For each word or phrase (1-7) find two words or phrases with similar meanings (a-n).

1. roll out [][]
2. cuisine [][]
3. stick to [][]
4. weird [][]
5. inspire [][]
6. fantastic [][]
7. disguise [][]

- | | |
|---------------|---------------|
| a. outlandish | h. food |
| b. encourage | i. continue |
| c. deceive | j. incredible |
| d. amazing | k. camouflage |
| e. stay with | l. stimulate |
| f. cooking | m. launch |
| g. introduce | n. strange |

WATCHING THE NEWS

Understanding Check 1

Read the quotes, then watch the news and match them to the right people.

- a. You could put some cabbage in it, and it'd be fine.
- b. Well, Tintagel is one of those sites ...
- c. The big question is though, what's your favourite flavour?
- d. We want the people to experience history in all sorts of different ways.



()



()



()



()

Understanding Check 2

Which is the best answer?

1. What new flavour of ice cream has English Heritage introduced?
 - a. raspberry ripple
 - b. brown bread
 - c. Marmite
 - d. chocolate
2. What did the reporter think of the new flavour?
 - a. She knew she would hate it, and she was right.
 - b. She thought she would love it, but in fact, didn't like it at all.
 - c. She thought she would hate it, but she found it to be quite nice.
 - d. She thought she would like it, and she was right.
3. Why did English Heritage introduce this new flavour?
 - a. They thought it would attract more people to come to Tintagel.
 - b. They wanted to sell more ice cream and thought this flavour would be popular.
 - c. There were lots of Georgian visitors who were interested in British gastronomy.
 - d. They wanted people to taste the same ice cream that used to be made in the 1700s.

What do you remember?

4. The women who tasted the new flavour mentioned lots of other foods and flavours. What foods and flavours did they mention?

5. What did the final taster (wearing large glasses) think of the new flavour? Would she order it?

6. The reporter mentioned three flavours that the Georgians loved. What were they? And what flavour would she prefer?

Background Information

アイスクリームの起源には諸説ありますが、一説によると中国で考案され、イタリアを経由してヨーロッパに導入されました。イギリスで初めて登場したのは1671年のウィンザー城 (Windsor Castle) での宴会だと言われており、専属の料理人がチャールズ2世 (Charles II, 1630-85) にアイスクリームをイチゴにかけて給仕し、国王が食するのを招待客が見守ったとの記録があります。当時は冷凍庫がなかったため、バケツなどの容器に氷と塩を入れて氷点を下げ、その上に牛乳などの材料を入れた容器を重ね、時々かき混ぜて滑らかにする必要がありました。氷は冬に凍った池などから切り出して、アイスハウス (ice house) と呼ばれる建物など、地下にある貯蔵庫で保管されました。適切な排水設備があれば、氷は何ヶ月、あるいは何年も保管することができます。今でも庭園にアイスハウスが残っている地方の屋敷もあります。またロンドンでは、運河の下に氷の貯蔵庫が設置されていました。

17世紀に珍味として登場したアイスクリームですが、イギリスが産業革命を経験し、物質的な繁栄を手に入れた18世紀には、中・上流社会に広く受け入れられました。ロンドンではアイスクリームパーラーが流行し、三点貿易で流入するようになった紅茶、コーヒー、砂糖などの嗜好品とともに消費されました。19世紀に入ってから摂政、次いで国王となったジョージ4世 (George IV, 1762-1830) は放蕩で知られていますが、芸術愛好家として美術品を収集したり、美食愛好家としてグルメを追求したりしました。当時の贅を尽くした食器の中にはアイスクリームの型や優美なスプーンなどもあり、今でもアンティークとして人気を博しています。

冷蔵庫や冷凍庫が発明されるのは20世紀に入ってからですが、イギリス人は美味しいアイスクリームを食卓にもたらすために手を尽くしてきました。18世紀の貴族女性の手書きのものから、趣向を凝らしたレシピ集まで、さまざまなアイスクリームの製法を伝えるレシピが残っています。時代とともに食の流行も変化するため、300年前と現在の味は大きく異なります。イングリッシュ・ヘリテッジ (English Heritage) は、イングランドの歴史的建造物を文化遺産として保護する活動をしていますが、管理する観光地の運営の一環として、過去の食文化の発掘を行っています。2023年の夏には、ティンタジェル城を含む13の観光地で、ジョージ王朝期のレシピから復元したブラウン・ブレッド味のアイスクリームを販売しました。歴史的建造物を訪れ無形の文化遺産である過去の味覚を味わうことで、多くの観光客は過去へのタイムトラベルを経験できたことでしょう。

参考:

<https://companieshouse.blog.gov.uk/2022/01/31/a-history-of-ice-cream-manufacturing-for-the-general-public/>

<https://randombitsoffascination.com/2020/07/30/georgian-ice-cream-and-ices/>

Watch the news, then fill the gaps in the text.

Newsreader: It's been ice cream kind of weather recently. It's been really warm, hasn't it? The big question is though, what's your favourite flavour? Well, forget vanilla, raspberry ripple, and chocolate, because English Heritage has (¹) (²) a new flavour for the summer: brown bread. Yep, you heard right. The charity's been getting (³) by flavours from the Georgian era. We sent our reporter Andrea Ormsby to Tintagel, for a taste.

Andrea Ormsby: When the (⁴) said to me, today, my job is, go to Tintagel and eat ice cream, I thought, "great!" Then, she said, it's brown bread ice cream.

Ormsby: A blast from the past. Ice cream was big business right back in the 1700s, despite the fact that (⁵) didn't even exist. The Georgians, in particular, loved to mix it up with some (⁶) and wonderful flavours. Now, English Heritage is bringing a taste of history back to life, with a Georgian favourite at several of its sites, this summer.

Ormsby: Well, Tintagel is one of those sites and as they say, the (⁷) is in the pudding. Well, they say it's like the Marmite of ice cream. You either love it or hate it. And I was expecting to hate it. But actually, it's quite nice.

Win Scutt, properties curator, English Heritage: It's kind of malty, and I like the chew in it as well. We want the people to experience history in all sorts of different ways. Not just (⁸), but through touch and all the senses. And bringing taste into it is (⁹). And, of course, to the Georgians, (¹⁰), gastronomy was really, really important. So, we're taking them back to that particular period and it's a great way to do it, through something so delicious as ice cream.

Ormsby: So, is it the best thing since sliced bread?

First woman: Oh, that's lovely. Oh, it's really, really nice. Not like anything I've had before but it's really, really nice. It's not as (¹¹) as most ice creams, I don't think.

Second woman: It's got a malty taste.

First woman: Yeah.

Second woman: It goes really right well with our blackcurrant and butter cream.

First woman: Oh!

Second woman: It tastes like a jam sandwich.

First woman: It also (¹²) me, it's got a bit of a biscuity ...

Second woman: Yes.

First woman: Like a caramelised biscuity taste.

Second woman: Yeah.

First woman: No, I like it.

Third woman: That's fine.

Ormsby: Is it fine?

Third woman: It's fine. Absolutely fine. You wouldn't know. I can't taste the brown bread. Absolutely fine.

Fourth woman: The English 'fine'. It doesn't mean anything, isn't it?

Third woman: You could put some cabbage in it, and it'd be fine. I, you can, you can put anything in ice cream and (¹³), (¹⁴) it.

Ormsby: It is brown bread ice cream.

Fifth woman: It's (¹⁵).

Ormsby: Nice?

Fifth woman: It's okay. It's not terrible but it's not (¹⁶).

Ormsby: So, you wouldn't be (¹⁷) it?

Fifth woman: Probably not.

Ormsby: But it could be (¹⁸). Those crazy fool Georgians just loved an artichoke ice cream, or cucumber, or even parmesan. I think I'll (¹⁹) (²⁰) mint choc chip. Andrea Ormsby, BBC Spotlight, Tintagel.

Notes

㊦ 3 **raspberry ripple** 「ラズベリー・リップル」バニラアイスにラズベリーシロップを混ぜたアイスで、イギリスでは人気の味 ㊦ 3 **English Heritage** 「イングリッシュ・ヘリテッジ」イングランドにおける 400 以上の歴史的建造物や遺跡を管理する団体。1983 年に前身となる団体が設立され、現団体は 2015 年設立 ㊦ 4 **brown bread** 「ブラウン・ブレッド」全粒粉で作られた茶色のパン。19 世紀半ばまでは、茶色い粉は良い製品と考えられておらず、価格が安かった ㊦ 6 **Georgian era** 「ジョージ王朝期」ジョージ 1 世 (George I, 1698-1727) が即位した 1714 年からジョージ 4 世 (George IV, 1762-1830) が死去した 1830 年の 4 人のハノーヴァー家 (House of Hanover) の王の時代を指す。その後即位して 1837 年に死去したウィリアム 4 世 (William IV, 1765-1837) の世を含む場合もある ㊦ 7 **Tintagel** 「ティンタジェル」イングランド南西部コーンウォールにある村。この村にあるティンタジェル城 (Tintagel Castle) はアーサー王 (King Arthur) 伝説ゆかりの地として知られている ㊦ 17 **Marmite** 「マーマイト」ビール醸造の過程で出る酵母エキスを作られたペースト状の発酵食品。ビタミン B12 が豊富に含まれる ㊦ 18 **love it or hate it** 「大好きか大嫌いか」好き嫌いがはっきり分かれるマーマイトのキャッチフレーズとして有名 ㊦ 26 **the best thing since sliced bread** 「スライスされたパン以来の最高のもの」パンをスライスする機械は発明当初、画期的なものとして人気を博した。以来「最高のもの、画期的なもの」を示す言葉となった ㊦ 54 **artichoke** 「アーティチョーク」キク科の多年草。ヨーロッパでは開花する前の蕾が食用として提供されている ㊦ 55 **BBC Spotlight** 「BBC スポットライト」イングランド南西部で放送されている BBC のニュース番組

アイスクリーム的一种であるソフトクリームは英語では soft-serve ice cream と呼ばれます。1930 年頃、輸送や保存の関係で硬く冷凍されたアイスクリームが流通していた時代に、作りたての柔らかく滑らかなアイスクリームを提供できる製造機がアメリカで開発されました。アメリカ発のソフトクリームはイギリスでも 1950 年代以降に普及していきますが、実はイギリスのソフトクリームの開発にはマーガレット・サッチャー (Margaret Thatcher, 1925-2013) 元首相が関わっていたとの噂があります。化学者だった彼女は、1949 年から 51 年にかけて食品メーカーの J・ライオンズ社 (J. Lyons and Co.) の研究チームに所属し、ソフトクリームのレシピや乳化剤を開発していたとのこと。実際の研究内容は明確には公表されておらず真偽は不明ですが、「鉄の女 (the Iron Lady)」と呼ばれた元首相の意外な逸話として広く語られています。

MOVING ON

Making a Summary

CD 1-04

Fill the gaps to complete the summary.

Ice cream was big business back in the 1700s. The Georgians, in particular, loved ice cream with some (w) flavours, such as artichoke, cucumber, parmesan, or brown bread! They have (i) English Heritage to (r) (o) brown bread flavoured ice cream at several of its sites, including Tintagel. English Heritage want the public to experience history in many ways, and bringing taste into it is (f). To the Georgians, (c) and (g) was very important, so using ice cream is a great way to go back to that period. The reporter tried some, because, she said, the proof was in the (p). She expected to hate it, but actually found it quite nice, although she'll (s) (t) her favourite: mint choc chip. One woman said it had a malty taste, and would go well with her blackcurrant and butter cream. Another woman said it had a (b) taste, while a third thought that even if you (d) the taste with cabbage it would be fine.

Follow Up

Discuss, write or present.

1. Can you imagine the taste of brown bread ice cream? What is the weirdest ice cream flavour that you'd like to taste? What about tomato, mushroom or natto?
2. What do you think of English Heritage's wish for people to experience history by tasting historical flavours? What other ways could people experience history?
3. Imagine a museum 200 years in the future, where people are invited to experience life as it is today. What should they be invited to eat, drink, or do?